

第 7 期北九州市障害福祉計画・第 3 期北九州市障害児福祉計画の 前回資料（8 月協議会）からの主な変更点

3 成果目標

障害のある人等の自立支援の観点から、地域生活への移行や就労支援といった課題に対応するため、令和 8 年度を目標年度として、必要な障害福祉サービス等及び障害児通所支援等の提供体制の確保に係る目標を設定

(2) 精神障害にも対応した地域包括ケアシステムの構築

ア 令和 8 年度末の精神病床における一年以上長期入院患者数を 2,082 人以下とする。

~~イ 令和 8 年度の精神病床における早期退院率について、入院後 3 か月時点を 60% 以上、6 か月時点を 86% 以上、1 年時点を 92% 以上とする。~~

(変更理由)

「ア」の長期入院患者数については県の計画案を踏まえ修正したものであり、「イ」の精神病床における早期退院率については、平成 30 年度より厚生労働省の調査結果の集計方法が変更され、県単位での退院率しか算出されなくなり市単位の数値が把握できないため。

4 活動指標

成果目標を達成するために必要な量の見込み等をこれまでの実績を踏まえて設定

(1) 福祉施設の入所者の地域生活への移行

② 日中活動系サービス

【新規】就労選択支援

区分	R 6	R 7	R 8
利用者数	183 大⇒-	368 大⇒193 人	551 大⇒386 人
利用日数	2,562 大⇒-	5,152 大⇒2,702 人日	7,714 大⇒5,404 人日

(変更理由)

サービスの開始予定が令和 7 年 10 月からとなったため。

(4) 福祉施設から一般就労への移行等 就労選択支援（再掲）

区分	R 6	R 7	R 8
利用者数	183 大⇒-	368 大⇒193 人	551 大⇒386 人
利用日数	2,562 大⇒-	5,152 大⇒2,702 人日	7,714 大⇒5,404 人日

(変更理由)

サービスの開始予定が令和7年10月からとなったため。

(8) 発達障害のある人等に対する支援の充実・強化
発達障害者支援センターの外部基幹や地域住民への研修、啓発

区分	R6	R7	R8
研修・啓発件数	98 件⇒32件	98 件⇒32件	98 件⇒32件

(変更理由)

直近の実績や件数のカウント方法を調整したため。